

未来こい!ネット通信

第35号 2026年2月26日

発行者 「伊野やって未来こい!ネット」
代表 兼折 治加

いの食堂特集

だれでも利用できる

つながいと出会いの場

子ども100円 大人300円

いの食堂がスタートして3年。当初は子どものいる家族限定(こども食堂)でしたが、今はだれでも利用できます。いろんな課題が見えてきました。ご意見をお寄せください。

だれが作っているの？

スタッフ不足！
翠苑さんと山里波さんも支援

いの食堂実行委員会(代表・多久和祥司)には10数人のメンバーがおり、チームに分かれて食事をつくっています。負担が大きいため、今年度は毎月開催をやめ、年間8回に減らしました。そのうち2回は翠苑と山里波のお持ち帰り弁当にしました。

スタッフの負担を減らすため、調理や食器洗い、会場設営や片づけのボランティアが必要です。時折、中高生や住民の方が手伝ってくれていますが、人手がたりません。ご協力をお願いします。年間1回でもいいです。

運営費用はどこから？

子ども100円、大人300円でやっていけるの？
毎回60食準備します。食材費や保険料を含め、一回当たり2万円ほどかかります。利用料の収入は約1万円です。不足分は県の助成金や企業・社協からのご寄付でまかっています。今

おいしい!は幸せのもと



伊野バージョンとコラボ 2025, 10, 19
昼食は、ちょっとぜいたくなバーベキュー

年度は栄徳葬祭会館から3万円、カイハツ(株)から3万円、県社協から5万円、Yから米1袋をいただきました。食材の提供、大歓迎です。

お持ちかえり人気

翠苑さんと山里波さんのご協力で、初めてテイクアウト(お持ち帰り)を実施したところ、想像を超える注文があり驚きました。顔と顔がつながる会食とテイクアウトの両にらみをしていく必要がありそうです。

シニア層の需要大

利用者のうち3分の2がシニア層です。子ども家庭を優先するため、子ども家庭からの申込締め切り後に一般申込を受け付けていますが、お知らせが不十分です。改善策を考えたいと思います。

中高生の利用はほとんどありません。2月から中学生には向陽中のご厚意でメール配信していただくようになりました。効果を期待しています。